

がんセンター だより

2025年
3月発行
— Vol.11 —

目次

- 小児緩和ケアチーム室長 あいさつ
- 令和6年度アピアランスケアシンポジウム
- IBCまつり
- 健康フェスタ
- がんセンターからのお知らせ

寄り添い、
共に歩む医療をめざして ——

小児病棟アート作品展
画：そうしくん



小児緩和ケアチーム室長 あいさつ

小児緩和ケアチーム室長 **三浦 翔子**

(医学部 小児科学講座 助教)



岩手医科大学附属病院小児緩和ケアチーム室の室長に就任した三浦翔子と申します。

令和6年度から、全国的に緩和ケアを要する小児患者に対して、小児科経験を有する医師及び看護師を含む緩和ケアチームによる診療及びその家族へのケア体制が、評価されるようになりました。このため岩手医科大学附属病院でも小児緩和ケアチームの立ち上げが、実現することとなりました。

小児緩和ケアは、成人緩和ケアと違う点があります。第一に、こどもは成長・発達する存在であるということです。年齢に応じた薬の生理学的な影響を考慮すること、コミュニケーションレベルを把握し、病気・治療・予後を理解する能力を把握し対応することが必要です。そのためには、多くの職種の支援が必要となり、当院でも臨床心理士・医療ソーシャルワーカー・病院保育士・院内学校教諭といった医療環境にあるこどもたちの心理社会的支援を担う職種が多数関わっています。また、家族支援が重要であることが挙げられます。もちろん成人緩和ケアでも重要ではありますが、小児期は親がケアや介護を担うこと

や、本人に代わって代理意思決定をする場合も多いために両親にかかる負担が大きいです。このため親が、きょうだいの抱える不安や負担にも目を向ける時間を作ることが難しいため、きょうだい支援も考慮する必要があります。そして、小児医療は、最後まで積極的治療が行われやすいことから、緩和ケアを行うことについての躊躇や、終末期の話題について話すことも難しいという特徴があります。

当院では、小児科医、小児科看護師、小児科薬剤師、臨床心理士、管理栄養士で小児緩和ケアチーム室を設置し、毎日の回診と週1回のカンファランスで問題点と今後の課題を検討しております。私自身はこれまで10数年間、主に小児血液腫瘍分野の診療に関わり、どの患者様・ご家族も想像を超える身体的精神的な苦しみや痛みを感じながら病気と関わっていることを経験してきました。その中で、きめ細やかにお話を伺い、ケアしていくことは非常に大切と感じております。岩手のこどもたちとそのご家族が少しでも安心して病気と向き合えるように尽力していきたいと思えます。どうぞ宜しくお願い致します。



令和6年度アピアランス支援モデル事業 「アピアランスケアシンポジウム」の開催

全2回

岩手医科大学附属病院では、がん医療に携わる医療従事者を対象に「アピアランスケア」についてより詳しく知って頂くよう、下記のとおりシンポジウムを2回開催致しました。

第1回、第2回共に、沢山の医療従事者に参加頂きました。誠にありがとうございます。

がんセンターでは、今後も県民の方々が、どこに住んでいても同じようにケアが受けられるよう医療従事者の育成に努めてまいります。

第1回アピアランスケアシンポジウム

テーマ みんなではじめよう アピアランスケア

開催日 2024年10月10日(木)



■基調講演

演題 だれが? どうする?
アピアランスケア

講師 藤間 勝子先生 (国立がん研究センター中央病院
アピアランス支援センター センター長)



第2回アピアランスケアシンポジウム

テーマ こんなときどうする 困ったときの対応方法

開催日 2025年2月10日(月)



■基調講演

演題 がん治療に伴う爪や皮膚のトラブルに
どのように対応したらいいか

講師 角田 加奈子先生 (岩手医科大学 医学部)
皮膚科学講座 講師



「IBCまつり」にて がんセンターのPR活動を行いました。



がんセンターPRブース1日目

2024年9月7日(土)、8日(日)の2日間、滝沢市の ツガワ未来館アピオ 岩手産業文化センターで開催された「IBCまつり」にて、がんセンターのPR活動を行いました。

当日は、がんセンターのリーフレット配布などのPR活動に加え、がんに関する認知度アンケートを行い、500名を超える方々よりアンケートにご協力頂きました。

岩手医科大学附属病院は、岩手県唯一の都道府県がん診療連携拠点病院に指定されておりますが、今回の調査で、がん診療連携拠点病院を知っていると答えた方は、全体の25%弱と、認知があまり進んでいないとの結果となりました。

がんセンターでは、引き続き、今後も県内広くPR活動を行いたいと考えております。



がんセンターPRブース2日目



がんセンターテレビ出演



がんセンターリーフレット等



がんセンターPRブース

岩手医科大学附属病院 「健康フェスタ」に参加しました。

11月9日(土)、イオンモール盛岡にて開催された「健康フェスタ」に、がんセンターも参加しました。

当日は、がんに関するブースを出展し、リーフレットの配布や体験コーナーなどのPR活動を行いました。

さらに、地元タレントとのステージイベントでは、がんセンター長の板持先生、がん登録室長の西塚先生が出演し、がんに関する様々な質問にお答えするなど、がんに関する正しい知識を得て頂くよう来場者に呼びかけを行いました。

また、来場者アンケートでは、「がんに関する色々な情報が得られた」「楽しく健康について考えられた」など好評の声をたくさん頂きました。



アビアランスケアPRブース



ステージショー板持先生、西塚先生

イベント開催報告

◎無料パソコン教室

がん患者・家族サロンでは、がん治療のためお仕事を休職中の方、退職したけれど再就職をお考えの方などを主に対象としたパソコン教室を開始しました。ワード・エクセル・パワーポイントなど一般に多く使われている操作を学ぶことが出来ます。パソコンが全く初めての方でも安心して学ぶことが出来ますので、是非ご参加ください。予約も可能です。

日 時 毎月第2金曜日 午前11時から午後3時

◎おしごと相談会

がんの治療を受けるにあたり、仕事と治療の両立に関する相談会です。岩手県産業保健総合支援センターより、両立支援担当者が来訪し対応致します。

日 時 毎月第3火曜日 午後1時から午後4時

◎ウィッグ相談会

各専門店アドバイザーが、医療用ウィッグのかぶり方、お手入れ方法など様々な相談にお答えします。ウィッグの試着も出来ますので、是非ご参加ください。

日 時 毎月第2水曜日、第3金曜日、第4火曜日 午後1時30分から午後3時30分



◎オストメイト相談会

人工肛門・人工膀胱造設したことによる、日常生活での悩みや不安、ストーマお手入れなどの方法について、オストミー協会の方が来訪し対応致します。

日 時 毎月第4月曜日 午前10時から正午

◎乳房手術後補正下着個別相談会

がん患者・家族サロンでは、乳腺手術後の方向けに乳房手術後補正下着専門コーディネーターによる相談会を行っております。当院での治療の有無に関わらず、どなたでも参加可能です。補整用品に関する紹介、お身体の採寸、試着なども出来ます。

日 時 奇数月 第3水曜日 午前11時から午後3時

※この他、各種イベントを開催しており、ボランティアさんが活動しております。詳しくは、がん患者・家族サロンのカレンダー、パンフレットでご確認ください。



岩手医科大学附属病院 がんセンター

がんセンターでは、がんの最新情報をごん患者やその家族に広く周知を図る目的としてYouTube動画を作成しております。今後も順次アップを予定しておりますので、是非、「がんセンターホームページ」又は「岩手医大公式YouTubeチャンネル」をチェックしてみてください。

学校法人岩手医科大学 公式YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCWMLNLL_OnLX3ftq2-YR9A/videos 2次元コードはこちら



第1回 がんゲノム医療 ～ゲノム情報を用いた 個別化医療～

岩谷 岳 先生
岩手医科大学 医学部 臨床腫瘍学講座



第2回 がん相談 支援センターの紹介

玉川 聡子 氏
岩手医科大学 病院事務部 医療福祉相談室



第3回 病理診断とは

柳川 直樹 先生
岩手医科大学 医学部 病理診断学講座



第4回 がん治療と口腔ケア

佐藤 俊郎 先生
岩手医科大学 歯学部 口腔医学講座 予防歯科学分野



2024年10月 ピンクリボンイベント

がん患者・家族サロンでは、今年もピンクリボンツリーを飾り、乳がんの正しい知識と早期発見・早期治療の重要性について呼びかけを行いました。ピンクリボン月間中に来訪された患者さん達は、乳がん撲滅への思いをこめて、ツリーにピンク色のリボンを結んでくださいました。



2025年2月 ゴールドリボンイベント

2月は、国際小児がんデーです。毎年、岩手医大に入院している子どもたちが、国際小児がんデーのイベントに合わせてたくさんの作品を作成してくれました。

今年の絵のテーマは「たいせつなもの」です。家族やペット、宝物だったり、どれをみても素敵な作品ばかりです。また、作品を見た方々から、「かわいい」「とても上手」「癒される」などたくさんお褒めの言葉を頂きました。ありがとうございます。



患者さんより、お礼のメッセージが届いております。

本当にありがとうございました。

再発で2度目の脱毛です。オレンジ色の帽子を被ると明るい気持ちになりました。大切に使います。

かわいい負けないゾウをいただきました。病室への帰り道、私の心は軽くなっていました。

寝るときに使うと、蒸れにくく肌心地がとてもいいです。作ってくださりありがとうございます。

高齢者になっても、脱毛には抵抗を感じます。帽子のおかげで、笑顔で話ができる喜びを感じます。ボランティアの皆様、ありがとうございます。

ふんわり包まれる感じがとても癒されます。気に入って使っています。

不調と脱毛、不安で、不安でがんサロンに一步、一步…。ですが、来てみて不安が頑張る心になりました、ありがとうございます。



他にもたくさん届いております。

がん患者・家族サロンからのお礼



うさちゃん帽子



ヘビのぬいぐるみ



ポーチ



ミサンガ



お薬手帳



貝殻のリース



たくさんの寄贈品
ありがとうございます。



たくさんの寄贈品ありがとうございました。いただいた寄贈品は、患者さんへお渡ししており、たくさん感謝の言葉をいただいております。皆様のご支援に感謝申し上げます。

テレビ番組「健康大百科」で、アピアランスケアコーナーが紹介されました。

テレビ岩手放送のテレビ番組「健康大百科」で、がん患者が抱える外見の悩みにこたえる「アピアランスケア」が紹介されました。(2025年1月11日放送)

既に放送は終了しておりますが、テレビ岩手のホームページ(<https://www.tvi.jp/health>)でダイジェスト版が公開されております。是非ご覧ください。



2次元コードはこちら

院内のがん相談窓口

■がん相談支援センター

がん相談支援センターは、がん患者さんやご家族だけでなく、どなたからのご相談も、面談または電話により無料でお受けしております。

専門の相談員が対応しますので、心配なことがありましたら、どんなことでもご相談ください。(個人情報厳守いたします。)

お待たせすることもありますので、あらかじめお電話にて日時をお約束をすることをおすすめいたします。

医療費・経済的負担のこと

療養生活のこと

セカンドオピニオンのこと

病気のこと

仕事と治療のこと

家族のこと



☎019-611-8073 (直通)

平 日 (月～金) 9:00～16:00

第1・第4土曜日 9:00～12:00

岩手医科大学附属病院 1階
患者サポートセンター内

■がん患者・家族サロン

がん患者・家族サロンは、がん患者さんおよびその家族に対する精神面を中心としたケアの充実を目的とした場所です。岩手医科大学附属病院での治療の有無に関わらずどなたでも無料で利用できます。

☎019-613-7111 (内線 3222)

平 日 (月～金) 10:00～16:00

岩手医科大学附属病院 東エレベーター 2階 20番



がんに関する冊子や書籍の他、治療に伴う脱毛対策としてのウィッグやタオル帽子・コットン帽子のことなど、様々な情報を提供しております。

がん患者・家族サロンホームページ

<https://www.hosp.iwate-med.ac.jp/hospital/gancenter/salon/index.html>

～一人で悩まずに、あなたの不安やつらさをお話してください。～



QRコードはこちら

編集後記

がんセンターだより11号を最後までお読み頂き誠にありがとうございます。

がん患者・家族サロンでは、新たにパソコン教室のイベントも加わり、これまで以上に、充実した内容をお届けしたいと考えております。がん治療や副作用のこと、お金や仕事のこと、毎日の暮らしのこと、がんに関することでしたら、がん相談支援センター又は、がん患者・家族サロンまで、お気軽にご相談ください。